



平成24年度 果樹情報 第19号

(平成25年3月12日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (3月上旬：果樹研究所)

平均気温は1半旬が2.4℃で平年より1.2℃低く、2半旬が6.9℃で平年より3.4℃高かった。この期間の降水量は0.5mmで平年の2.3%でした。

2 発芽予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並みに経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月29日頃で平年より3日遅く、なし「幸水」の発芽は4月4日頃で1日遅く、りんご「ふじ」の発芽は3月29日頃で平年並みと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

表1 発芽予測日

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
もも あかつき	3月31日	3月26日	3月29日	3月26日	4月2日
なし 幸水	4月10日	4月3日	4月4日	3月31日	4月9日
りんご ふじ	4月3日	3月29日	3月29日	3月24日	4月2日

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成25年3月8日発表)より

今後の気温経過は、1週目(3月9日～3月15日)は平年並または低い確率がともに40%、2週目(3月16日～3月22日)は高い確率が40%、3～4週目(3月23日～4月5日)は平年並の確率が40%となっています。

3 栽培上の留意点

(1) 管理作業の計画的実施

この時期の管理は、せん定やせん定枝処理、誘引、及び休眠期防除などが中心となりますが、発芽予測日と気象予報等を考慮し、管理作業が遅れないよう注意してください。

(2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前までで、発芽期以降は摘らいの際に葉芽を痛めやすい上に花らいが離脱しにくくなり、能率が極端に低下します。摘らい作業は時間を要するので計画的に実施しましょう。

摘らい作業の省力化を目的として、高圧動力噴霧機と摘らい用ノズルによる水圧摘らいを実施する場合は、果面障害の発生を最小限に抑えるため、発芽期前後に実施するか開花直前～開花期頃に実施してください(開花前5～15日および発芽後5～15日頃は果面障害が発生しやすいので注意する)。

4 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期から防除を徹底するとともに、発病部位は健全部を含むように削り取るかせん除してください。

うどんこ病のボケ芽等はせん定時に除去し、第1次伝染源の密度低下を図りましょう。

リンゴハダニの越冬卵量が多い園では、休眠期の防除を徹底してください。

(2) もも

縮葉病に対しては、休眠期の防除を徹底しましょう。

コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後に防除薬剤を幹および主枝に手散布してください。

ハダニ類、カイガラムシ類、アブラムシ類に対しては、休眠期の防除を徹底しましょう。

(3) なし

黒星病に対しては、発芽10日前までの防除を徹底しましょう。

ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い場合は、休眠期の防除を徹底しましょう。

(4) ぶどう

晩腐病に対しては、休眠期の防除を徹底しましょう。。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。